

R6 高校生ものづくりコンテスト（溶接作業部門）県大会に向けて

機 械 科



7月25日、26日に島根県立西部高等技術校で実施される標題の大会出場に向けて、本校から出場する機械科3年生の生徒が一生懸命に練習に取り組んでいます。

機械科の実習の中では溶接作業を学びますが、溶接といっても様々な種類のものがあり、この大会ではアーク溶接を用

いて金属の密閉容器を作り、その強度と溶接面の美しさを競い合います。この大会で上位に入賞すると、8月に岡山県で開催される中国大会に出場が出来ます。

溶接とは金属を溶かして接合する作業であり、アーク溶接は電気の放電現象を利用して約5000℃の熱と光を発生させるために保護具を使用します。保護具は光を感知すると、自動的に遮蔽板を偏光させて目を守りますので、安全に作業が出来ます。

この取り組みは総合的な探究の時間に学習を行っていますが、何回かは技能マイスターさんにアドバイスをいただきます。素晴らしい探究活動になっているところです。

